

# SLA通信

〒460-0024 名古屋市中区正木1-2-8

(財)シニアルネサンス財団内

TEL 052 332 7883

第27号

## 「集まろう」をキーワードに。

中部シニアライフアドバイザー協会

会長 田中 秀典

シニアルネサンス財団がシニアライフアドバイザーを養成し、中部SLA協会が設立されて9年目を迎えました。

堅実な歩みと共に、激動する社会の動向に变革を余儀なくされる事もありました。

そんな中であって今年度、会長職を拝命し、重責をまっとうできるのか不安だらけの新任ご挨拶となりました。

ただ昨年、幹事として一年身を置いてみて、会員一人ひとりの備わった能力には凄いながあるかと痛感をいたしました。

今後、私はもとより、私達幹事はその素晴らしい各人の潜在的パワーをいかに発揮していただき組織全体の活性化につなげてゆくかを主眼に置いて、幹事会が発信地であったり、時として中継地であったり、と考えております。

誤解を恐れず、敢えて暴言を吐かせていただければ、「批判する側」に立つだけではなく「批判される側」にも身を置いて活動の輪に加わっていただき、過去に築き上げられた栄光の足跡を継承しつつ、新しい風も吹き込んだ企画を皆様方にも提案、参加していただけたらと願っています。

今年度は「集まる」をキーワードに各地域部会の催事に“この指止まれ！”で交流を推進していきたいと思えます。

SLA通信が例年発行月よりやや遅くなりましたのも、各地域部会の活動予定を盛り込んだ会員参加記事をより多く掲載しようという狙いもあったからです。

どうぞ、皆様のお力を協会に、幹事に、会員一人ひとりにお貸し下さい。

幹事を代表しまして、改めて今年一年よろしくお願ひ致します。

## 平成 14 年度 役員について

平成 14 年度 中部 SLA 協会の役員は次の通りとなりました。

いろんな意味で大きな変革の時代のなかで、この協会の意義・役割への問いかけが今まで以上に必要になってきた感じが致します。

以前経験されたベテランの方 1 名、2 年目の方 3 名と初年度 3 名と人数的にもパワー不足でどこまでできるか分かりませんが、守り育てて行く事と新たな変化・挑戦をして行く事が少しでも意義深いものになればと思っております。

ご意見をいただきますようお願いいたします。

### 新役員を紹介

会長	田中秀典
副会長	近田昌枝
研修	浅野澄子
	高梨泰子
広報	原田志郎
	高梨泰子
	奥山裕子
渉外	原田志郎
会計	森北美美代
監査	稲村忠雄
	桂川豊明

今後は、できるだけ頑張って電子化をすすめ、情報の量と質とスピードの向上と郵便料金などの経費削減を図って行きたいと思っております。

今年度の幹事会へのご連絡は、田中秀典 まで。

〒451-0072 名古屋市西区笠取町 3-39 エスポア浄心Ⅲ702

TEL/FAX : 052-522-4510

## 平成 14 年総会・開催

平成 14 年 4 月 20 日（土）午後 1 時より、名古屋市中区の高砂殿本店にて行いました。

出席者 24 名、委任状 63 名、 87/ 115 名にて総会は成立いたしました。

先に提出された議案書はすべて承認されました。

意見として出されたこととして、年々の会員減少と活動沈滞化が相互に影響し合い、負のスパイラル現象とも思える中で、活性化のためなんらかの変革に向けた活動をして行く必要があるが、その際には特別会計としての基金定期積立の有効活用も視野に入れ検討して行くべきとの意見がありました。また、岐阜部会より協会名にて生き生き教室の運営などを進めているが、会員数のみの部会予算では活動の広がり、活性化は殆ど不可能との事から、この特別会計である基金定期積立の活用も検討していただきたいとの要望も出されました。

これら協会活動活性化と予算の問題、そして基金定期積立の取扱いなど、協会立ち上げ時点と大きく内外の状況が変化しており、新たな考えによって組み立て直す必要はありますが、これらの取扱いについて規定やルールとして明確化されていないことも在り、方向性も見出せず閉塞状況に陥っているとも言え、なんらかの解決行動が今後必要です。

いずれにせよ皆それぞれは一生懸命考えられています、様々な価値観や思いが交錯し、思いきった計画や活動が打ち出せずにいるようです。またかといって特定のメンバーの考えのみで急進的に進める事も現段階ではコンセンサスも得られない事から、役員を中心に検討を重ね会員全員の了解もしくは承認を得るような努力と手続きを進めていく配慮が必要という意見が大勢を占めたものと考えております。

今後は、いろいろな意見交換など様々なプロセスを繰り返し、より良い解決策を見出して行く努力が必要と思われます。それらすべて因果関係にあって何をどこから改善して行く事が良いのか難しいことではありますが、会員の参画意識の温度差を極力少なくして行く事も必要と考えております。

## 平成14年度の活動予定

4月20日(土)	平成14年総会
5月11日(土)	新旧幹事の引継ぎと新幹事会
6月	
7月	SLA通信27号発行
7月	各部会代表合同協議会
8月	名北部会「第7回生き生き教室講演会」
9月	全国電話相談「シニアひとり暮らし110番」
10月	尾張部会「多治見 地場産業の陶磁器の見学」
10月	岐阜部会「生き生きシニアへの道講演会」
11月	各部会代表合同協議会
12月	
1月	SLA通信28号発行
2月	
3月	シニア・アートフェスティバル参加
3月	全国電話相談「定年前後の悩み110番」
3月	岐阜部会「特別養護老人ホームの現状と問題点講演会」
4月	年次総会

- 各地域部会のなかで時期が明確になっている行事を追記致しております。  
詳細は「地域部会だより」を参照してください。

幹事会 毎月第二土曜日  
地域部会 随時

平成14年度年会費納入のお願い  
まだ、未納の方は下記宛へ振込をお願いします。

振込先	UFJ銀行笹島支店
口座番号	普通：1411404
口座名	中部シニアライフアドバイザー協会
年会費	3,000円

## 地域部会だより

### 名北部会

代表 加藤銜美

#### 実施報告と予定

##### 実施分

平成14年度第一回例会

日時：平成14年5月18日（土） 11：30～14：00

場所：木曾路 栄店

参加者：8名

昨年度の活動報告と会計報告の後、次の事項について相談し、決定しました。

① 平成14年度の役員について

代表 加藤銜美 会計 宮川和男

② 平成14年度「生き生き教室」について

今年は、第7回目の生き生き教室となり、次項の予定での内容のように実施計画を立てました。

##### 計画

第7回生き生き教室講演会

とき：平成14年8月3日（土）13：00～15：00

ところ：名古屋駅前 高砂殿

テーマ：生活の中の音楽

～音楽がメンタルヘルスにどんな風に役立っているか～

講師：岐阜県音楽療法士・訪問看護師 高橋たかね先生

音楽を聴くと、からだが軽くなります。

音楽が与える不思議な力を体験してみましよう。

参加費：500円

定員：100名

共催：(財)シニアルネサンス財団SRクラブ中部支部

中部シニアライフアドバイザー協会名北支部

※名北支部の行事ですが、他の地域部会の方々も多数ご参加いただきますようお願い致します。

※生き生き教室の講演のテーマについては、このほか部会でいろいろな具体的提言がありました。このような前向きな取り組みを今後の活動計画に生かして行きたいと思えます。

## 尾張部会

代表 田中 芳雄

### 尾張部会 14 年度計画について

14 年度 尾張部会の総会は、6 月 1 日（土）尾張部会出席者 9 名と協会より、会長、副会長がオブザーバーとしてご参加いただき、絞りの産地 「有松」で 11 時より開催し、昨年度の尾張部会代表の 浅野澄子さんより、昨年度の活動の報告に続き、会計報告があり、本年度の代表として、私が受け継ぐことのご承認を頂き、本年度の活動計画の概要を発表しました。

地域部会としては、現在、名北部会、岐阜部会、そして我々の尾張部会の 3 部会が活動をしておりますが、大局的な見地からの活動（啓蒙的な勉強会や、これから知識として必要な勉強会等）は、中部 SLA 協会にお任せし、地域部会としては、あくまでも、所属する会員のコミュニケーションを第一に考え、ややもすると、疎遠に成りがちな面をなんとかカバーし、協会の活動を側面より支援していきたいと考え、本年度は 地元を見つめなおし 「ふるさと再発見」をテーマとして活動したいと下記のように提案し検討して頂きました。（下記は当日アンケートの希望の多いものを優先に立案しました）

#### 実施分

6 月 1 日（有松絞りまつりの見学）

#### 計画と予定

(1) 10 月 11 日（金） 多治見 地場産業の陶磁器の見学

集合時間 11:00 時 中央線 多治見駅（西口）集合

食事（予定¥1500）後 「さかづき会館」と「幸兵衛窯」の見学（¥600）

参加希望者は他部会でも受け付けます。

(2) 12 月～1 月（詳細な計画は SLA 通信で後報いたします）

七宝焼きの体験と産地見学（材料費¥2000+食事¥1500 の予定）

（但しこの計画は参加者が 15 名～20 名でないと体験工房で制作が出来ませんので、他部会の参加をお待ちして実現したいと思います）

(3) 平成 15 年 3 月～4 月

中部電力「知多電力館」見学 OR 弥富 「金魚と文鳥の町」

OR 一宮 「繊維技術センター」見学（尾州の毛織物産地） OR

岐阜羽島市「なつかしの映画資料館」OR 師勝町「昭和日常博物館」

**計画に対する、参加の希望者は 田中迄(Tel/Fax 0586-62-8178)ご連絡下さい。**

なんせ、ここらあたりはこれから皆さまの興味をひきそうなのを具体化したいと考えております。

「有松絞りまつり」の当日は、よくもこんなに人が来るものだと、あの昔ながらの町並みが、人出で軒先や店の奥が見えない程で感心やら、人々の郷愁の原点（機械には無い、全くの手造りの商品）を垣間見たような気がしました。同時に、有松と言う「ブランド」を地域が大事にしているのを、まつりを通して感銘を受けました。

## 岐阜部会

代表 尾関恵子

私達岐阜部会は、SLAとして内部ではなく外部の人達（一般の人達）を対象に活動を致しております。幸いな事に、活動の場としてJR岐阜駅の高架を利用して出来た岐阜市の施設「ハートフルスクエアG」を利用させて頂いております。

今年二月の開館イベントには、皆様のご協力を頂きまして成功いたすことができました。ありがとうございました（別紙 女性センターだより）

引き続き「生き生き教室」を開催し、今月までに「手芸」「パソコン」等を中心に10回開催致しました。一人でも多くの人達にSLAを知ってもらいたくイベントに来て頂いた人達をもとに、ハガキ、ロコミなどで人集めをしています。

今後の活動として、外へ向けた以上私達岐阜部会としてではなく、中部SLAとして皆様のお力をお借り致したく思っております。ちなみにセンターへの活動ルームとしての承認は、中部シニアライフアドバイザー協会として承認いただいております。

また九月より、男女共同参画自主講座として①「シニアのためのパソコン教室」、②講演「生き生きシニアライフへの道」、③「特養ホームの現状と問題点」の三講座を開催致します。その他、手芸、絵てがみ教室なども開催致します。

なにぶん走り始めたばかりで色々皆様にご迷惑をお掛け致す事と思いますが、中部SLAのためよろしくご指導お願い致します。

### 予定

- (1) 自主講座「シニアのためのパソコン教室」6回・9月より  
(パソコンチームの皆様)
- (2) 講演会「生き生きシニアへの道」 H14.10.16  
講師・杉浦玲子氏（シニアライフアドバイザー・社会保健労務士）
- (3) 講演会「特別養護老人ホームの現状と問題点」 H15.3.16  
講師・山下律子氏（介護施設と地域を結ぶ市民の会代表）
- (4) その他：絵手紙教室、手芸教室 など



## チーム活動のお知らせ

### 特設電話相談チーム

代表 大森政文

今年も全国一斉特設電話相談が実施されると思います。

ひとつは『シニアひとり暮らし 110 番』、もうひとつが『定年退職前後の悩み 110 番』で、チームとしては全国SLA協会の実施決定連絡を待つところです。

チームの活動のねらいは、相談者の期待に応えるにはどのようにすれば良いのか？ということです。

現在チームのメンバーは 28 名です。

チームに参加ご希望の方は大森までお知らせください。

また、電話相談にかかわる勉強会の開催を予定しております。

詳しくは、別紙チラシをご覧ください。



## パソコンチーム

今泉治子 (代表) 小澤節子 加藤恭子 畑島美奈子 松本敏子

### パソコンで SLA 活動を

「協会や SLA は、このままでいいのだろうか？」そんな思いを会員同士交わす機会があります。パソコンチームも、たまたま「パソコンをやっている」5人が居合わせて、同じような懸念をみんなで話し合っているうち、パソコンで SLA 活動をしようということになり、昨年4月、急遽発足しました。

主な活動目的は、パソコンを必要とするシニアの人たちを、同じシニアの立場から指導することにあります。しかしながら、「パソコンの知識があつて自分でわかっている」ということと、「他人、特にシニアの人たちにわかり易く教えられる」ということの間には大きな違いがあります。

そうしたギャップをなくすため、私たちは、まず、シニア向けのインストラクション技術を学ぶことからはじめ、その結果、全員がシニア IT アドバイザーの資格を取得しました。

本格的な活動はこれからですが、現在は、岐阜部会の要請を受け、岐阜 JR 駅女性センターパソコンルームで、一般シニア初心者を対象とした講座を開講中です。また、(財)シニアルネサンス財団の協力を得て、SR クラブのセミナーで、パソコン入門講座を開講する準備を進めています。

会員の皆さまを対象とした講座も計画中ですが、研修場所などクリアしなければならない点もあり、具体的なお知らせはまだ先になります。開講の折には、ぜひご参加ください。

立ち上げたばかりの小さなチームですが、講座開講の準備や自分自身のスキルアップに、思いがけなく時間に追われる日々を過ごし、本音で言えば、SLA としての充実感を、はじめて味わっています。そして、私たちの活動が、SLA 活動推進に多少なりとも役立つことができるならばと願い、これからも励ましあいつつ、前進したいと思います。

※ パソコンチームに興味がある方は、チームのメンバーにお問い合わせください。



## 第6回 シニアアートフェスティバル

### 結果報告

- (1) 主催 : SRクラブ 中部支部 ・ 中部SLA協会  
 (2) 後援 : 内閣府 ・ 愛知県 ・ 名古屋市 ・ 中日新聞社  
 (3) 協賛 : 高砂殿 ・ あいおい損害保険㈱  
 (4) 開催日時 : 平成14年3月27日(水)～31日(日)  
 10:00～18:00 (31日のみ14:00まで)  
 (5) 会場 : 電気文化会館 5F 西ギャラリー

(6) 出品者数 : 175名

90代	80代	70代	60代	50代	40代	不明
2	8	58	48	25	2	32

最高齢 91歳

(7) 出品点数 : 237点

洋画	日本画	彫刻	美術 工芸	書	写真	手芸	俳句・ 短歌	その他
11	18	1	78	16	22	17	13	61

(8) 来場者数 : 1342名

3月26日(搬入日)	3月27日	3月28日	3月29日	3月30日	3月31日
262	301	192	109	198	280

(9) パブリシティー

- ① 中日新聞・・・平成14年3月24日(日) 市民版に掲載  
 ② 毎日新聞・・・平成14年3月28日(木) おはよう名古屋に掲載  
 ③ テレビ愛知・・・平成14年3月27日(水) 17:00～、「ニュースアイ」オンエア

中日新聞

毎日新聞

◇シニアアートフェスティバル「創作作品展」27  
 13日前10～後6、中区栄  
 2、電気文化会館5階西キ  
 ャラリー。中・高年による洋  
 画や彫刻などの応募作品約  
 200点を展示。無料。◇シニ  
 アルネサンス財団＝電  
 052-332622

行催事

◇シニアアートフェ  
 ティバル「創作作品展」  
 31日までの10～18時  
 (31日は14時まで)、名  
 古市中区栄2の電気文  
 化会館5階西ギャラリー  
 で。洋画、日本画、手芸、  
 書など一般からの応募作  
 品を展示。問い合わせは  
 シニアルネサンス財団事  
 務局(052・332622)。  
 332622)。

伝言板

# 和 わ 輪

バトンタッチされた方は、次の号でSLAの仲間に渡してください。(原稿は400字程度)  
気楽にリレーを楽しみましょう。

## 大川克巳さんから

「私のライフワーク」

SLA会員の皆さんの日々のご活躍をSLA通信で拝見し、羨ましく思っています。私も鳥羽市に転居して早5年が過ぎました。転居後、三重県保険課主催の精神保健福祉ボランティアの講習を受講し、現在ボランティアに参加する一方、平成13年度三重県防災ボランティアコーディネーター講習会を受講し、3月県知事から終了証を受け取りました。

これからは、災害時における高齢者への対応をテーマに取り組んで行きたいと考えています。

また昨年8月、私も待望のパソコンが入り、何とか少しは操作することができるようになり、特に防災関係の友人からのメールばかりですが、パソコンも人を見るのか、思うように操作できなくなることがあり、そのつど、講師に電話で助け舟を出してもらっている始末です。

最後に、SLAセンターにホームページを立ち上げ、E-mailのアドレスを開示していただければ、情報の交換ができると思います。

## 清水博子さんから

六十歳なんて先の先と思っていたのに、気がつけば既に二年も過ぎて三人の孫を持つおばあちゃん。でも息子の孫二人は「お母さん」、そして娘の3才になる孫は「チャーちゃん」と呼んでくれます。ちょっぴり若返った気分になれます。けれどパソコン教室では、年相応に回らなくなった頭を使ってキーボードとにらめっこです。文章入力をマスターして、孫達とメール交換を—それまで元気で輝いていたいと思います。

次は、二期生の鈴木八重子さん(安城市)にバトンタッチします。

## 中野 敏子さんから

「ミモザによせて」

いつのまにか、桜の花も葉ざくらになり気温もぐんぐんとあがり、急に汗ばむ季節となりました。今年の春はうれしいことがありました。現在の住まいに引っ越して10年あまりになりますが、住みはじめた頃、庭に小さいミモザの木を植えました。1本目も2本目も枯れてしまいました。我が家の土には、ミモザは合わないのだらうとあきらめていました。

でも春を告げる真黄色の花はとても魅力的なのです。近くの植木屋さんでサンカクバミモザを見つけ、過去の失敗にもめげず、また庭に植えてみました。2～3年はなかなか大きくならず、やはりうちには合わないとあきらめかけていました。すると次の年には枝がのびて少し蕾をもちました。そして今年3mほどになり大切に育てていました。けれども1月の大風の日に根もとから50cmくらいのところでびしっと折れてしまいました。必死の思いで幹を立てて紐でぐるぐる巻きにして治療をしました。3月に入って、よその庭のミモザの花は次々に咲きはじめました。うちの木はどうなるのかと、とても心配でした。するとどうでしょう。4月に入って、やっと我が家のミモザが咲きました。遅ればせながらみごとに花を咲かせました。小さな庭が輝いて見えました。

ミモザにまつわるイタリヤのお話ですが、毎年3月8日はドンナ（女性）の日、そこでミラノの地下鉄は、全女性への賛美を込めて『女性の方に今日一日無料乗車券をサービスします。』というなかなか粋な車内アナウンスが入ります。そして男性が妻はもとより職場の女性にも、ミモザの花束を贈り、日ごろからの感謝の気持を表す日なのだそうです。なんてすばらしい日なのでしょう。次は荒川輝子さんにバトンタッチします。

---

### 編集後記

今回初めて幹事なるもの的大役を仰せつかりました。編集で油汗です。会長の挨拶にもあるように今までは外から（かなり？）見ていたという感じでしたが、今年からは僅かでも批判される側に身を置いて、少しでもお役に立てればと思っております。

(SH)

